



1942

創
立
期

戦後再建された病院本館



旧病院全景



移転当時の新病院



現在の病院

ともに、生きる。

2022

飛
躍
期確
立
期成
長
期

戦禍を乗り越えて

当院は、済生会創立30周年に際し、時の両陛下からいただいた御下賜金を基に、昭和17年5月30日、宇都宮市一条町に仮診療所として発足しました。当時の職員は医師2名・看護師3名・庶務3名の計8名でした。昭和19年には曲師町の既設建物を買収し、その名を宇都宮病院と改称して移転するも、翌年、戦災により全焼してしまいます。しかし、「一日も恩賜の医療の灯を消すこと無かれ」と、全職員をあげて昼夜罹災傷病者の無料救済に奮闘しました。

病院の拡大と福祉への貢献

増大する医療需要に応えるため、順次建物の増改築が繰り返されました。常に先進的医療を目指し、ベッドの段階的増床、昭和32年総合病院の指定、昭和56年栃木県救命救急センターの受託などを経て、地域医療の中核病院として発展を遂げてまいりました。この間、社会福祉法人としてのあるべき姿の追求を継続し、宇都宮乳児院、特別養護老人ホームとちの木荘の開設、附属看護専門学校の開校といった福祉サービスや人材育成にも尽力しました。

新病院の誕生と更なる進化

平成8年5月、中央本町から竹林町へ移転し、644床の新病院が誕生しました。未曾有の大移転は警察、消防、自衛隊などの多大なご支援により無事完了いたしました。新病院は救命救急センターを充実させ、ヘリポートを新設、また、脳・循環器病センターや県内初の緩和ケア病棟を新設しました。その後も、地域の医療ニーズに応えるべく、各種診療センターの開設や最新医療機器の導入に取り組むなど、高度急性期病院としての機能拡充を行いました。

選ばれる病院づくり、そして未来へ

平成26年にDPCⅡ群(特定病院群)に指定されましたが、病床機能の分化、急性期の絞り込みが叫ばれ、病院経営は厳しさを増しています。さらに近年、急速な少子高齢化、医療技術の進歩などを受け、国は医療制度改革を積極的に推進しています。そのような中、当院は将来構想を明確にし、計画から開設まで約5年の歳月をかけた増改築を行いました。施設(ハード)だけでなく、体制(ソフト)の充実も大切にし、地域から選ばれる病院づくりに邁進しています。

私たちは、寄り添う気持ちをどんな時も忘れずに大切に、
あたたかく、やさしく、平等なまなざしで、全ての人と向き合い、
時代に応える医療を推進し
地域社会と共に歩み続けていきたいと考えています。

特 集

地域の皆さまに支えられ 80周年を迎えました！



1942年5月30日に開設した済生会宇都宮病院は、2022年に創立80周年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆さま、関係団体の皆さまのご理解とご協力の賜物だと厚く御礼を申し上げます。

当院の理念である「思いやりのある安全で質の高い医療を提供し地域社会に貢献します」のもと、なお一層の努力をして参る所存ですので、今後とも皆さまのご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

Check.1



済生会とは…



明治天皇

明治44年2月11日、明治天皇は時の内閣総理大臣・桂太郎を御前に召されて「恵まない人々を施薬救療(無償で治療すること)によって救おう」とのお言葉一済生勅語一を発し、お手元金150万円を下賜されました。桂総理は、この御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募り、明治44年5月30日に済生会を創立しました。初代総裁に伏見宮貞愛親王殿下を推戴し、会長には桂総理が就任しました。現在、秋篠宮皇嗣殿下を総裁に公的医療機関として指定を受け、本部を東京に置き、全国40の都道府県に支部をもつ日本最大の社会福祉法人として医療・保健・福祉活動を展開しています。

3つの活動目標

- 生活困窮者を **済**(すく)う
- 医療で地域の **生**(いのち)を守る
- 医療と福祉、**会**を挙げて切れ目のないサービスを提供

施設数・職員数

病院・診療所: **101** 施設
 その他施設: **300** 施設
 全職員数: 約 **64,000**人

(2022年4月現在)

Check.2



80周年記念事業

● ロゴマーク・ポスター作成

周年ロゴマークとポスターを作成しました。ポスターは院内の外来・病棟などに掲示しています。

● 特設サイト・記念動画公開

2022年4月1日より、80周年記念特設サイトを公開しました。周年ロゴマークの由来や、当院80年の歴史を紹介するコンテンツを掲載しています。約4分の記念動画も作成しましたので、ぜひご覧ください。

<https://www.saimiya.com/80th-anniversary>▶

● その他

ノベルティグッズ(クリアファイル)を作成、80周年記念誌を発行しました。



済生会宇都宮病院80年の歴史年表

1942—2022

創立期 1956●1942

1942(昭和17)年 5月 仮診療所開設(一条町)
初代院長に高橋昇 就任
1944(昭和19)年 8月 済生会宇都宮病院開設(曲師町・40床)
1945(昭和20)年 7月 戦災での病院焼失
診療を開始する
1948(昭和23)年 6月 本館竣工(旭町・42床)
1951(昭和26)年 7月 乳児院開設
1952(昭和27)年 4月 看護婦養成所開校



創立時は内科・外科の2診療科のみ。8名の職員で診療にあたっていました。

成長期 1995●1957

1957(昭和32)年 1月 総合病院の指定(224床)
1965(昭和40)年 12月 南館新築工事竣工
1967(昭和42)年 3月 北館新築工事竣工(360床)
特別養護老人ホームとちの木荘開設
1977(昭和52)年 4月 附属看護専門学校開校
1981(昭和56)年 5月 県救命救急センター開設(532床)
1984(昭和59)年 4月 第2代院長に宮崎柏 就任
1992(平成4)年 12月 北館1階病棟開設(544床)
1993(平成5)年 12月 第3代院長に梅園明 就任
新病院建築工事着工
1996(平成8)年 5月 新病院開設(病床数644床)
1997(平成9)年 6月 災害拠点病院指定
訪問看護ステーションほっと開設



移転の際は、バス・救急車・自衛隊車両などで、256名の患者さんの移送を行いました。

確立期 2010●1996

1998(平成10)年 5月 病院機能評価認定(栃木県内初)
1999(平成11)年 4月 第4代院長に中田功 就任
2002(平成14)年 10月 高齢者ケアセンター開設
2003(平成15)年 4月 新理念・ビジョン施行、事業計画開始
2004(平成16)年 4月 第5代院長に中澤堅次 就任
2005(平成17)年 6月 北館(健診センター他)増築工事竣工
2006(平成18)年 6月 DPC対象病院認定
2007(平成19)年 1月 がん診療連携拠点病院指定
2008(平成20)年 11月 連携医制度開始
2009(平成21)年 11月 パースセンター(院内助産所)開設
地域医療支援病院認定



地域の期待に応える医療と福祉を…施設整備・拡充に日々取り組んできました。

飛躍期 2022●2011

2011(平成23)年 1月 電子カルテ稼働
2014(平成26)年 4月 第6代院長に吉田良二 就任
2015(平成27)年 4月 DPCII群病院指定(現・特定病院群)
2016(平成28)年 4月 うつのみやなでしこ保育園開園
2017(平成29)年 9月 病児保育施設おはなほいくえん開園
2018(平成30)年 8月 第7代院長に小林健二 就任
2019(平成31)年 1月 南館オープン(入院サポートセンター開設・化学療法センター移転)
2020(令和2)年 12月 口腔ケア(歯科)開設
2021(令和3)年 8月 集中治療室改修(18床)
2022(令和4)年 10月 手術室増設(ロボット・ハイブリッド手術室)
2022(令和4)年 5月 新理念・基本方針施行
2022(令和4)年 4月 済生会フェア開催
2022(令和4)年 2月 新型コロナウイルス対応(～現在)
2022(令和4)年 10月 第8代院長に野間重孝 就任
2022(令和4)年 5月 ドクターカー運行開始
創立80周年



80年の歩んできた軌跡を胸に、次の未来を拓きます！



済生会フェア



入院サポートセンター



健診センター



ドクターカー



ロボット支援手術



パースセンター



新病院建設工事中



移転時の患者移送



1970年頃



1990年頃



初代院長診察



初代院長回診